

2018年度のふじのめ学級実習生

2019年度の実習に向けての抱負  
新実習生へのメッセージ

北海道教育大学札幌校  
特別支援教育専攻

# 2019年度に向けて(小1組)

- 【2019年度の実習生への助言】
  - 面倒なことを後回しにせずに、効率よく提出物を終わらせる
  - 失敗を恐れずに思いついたことは何でもチャレンジする
  - つらい時はため込まず適度に吐き出す
  - 実習外で息抜きできる時間をつくる
  - 先生方や子ども達に対しての礼儀やマナーを守る
  - つらい経験もいい経験になる！
- 
- 【3年次の実習に向けて改善したいこと】
  - 指導案の書き方と研究授業に向けて。指示の仕方
  - 3週間を耐え抜く体力と精神力
  - 率先して人前に出るようにする(普段からやること)

# 2019年度に向けて(小2組)

- 【2019年度の実習生への助言】
- 3週間は思ったよりも短いので、遠慮せず積極的に自分からかかわるべき。
- 小学生は、私たち大学生より体力が沢山あるので、ついて行けるように日頃から体力をつけておいた方が良い。
- 児童とのコミュニケーションを取るうえで、表情はとても大事。当たり前だが、笑顔で話しかけた方が児童の反応が良い。しっかり目を見て話すことや、笑顔でいることを心掛ける。

# 2019年度に向けて(小2組)

- 【3年次の実習に向けて自分達は何を改善していきたいか】
- 初日から積極的に行動したい。
- 自分から積極的にかかわりに来てくれる児童だけでなく、クラスのいろいろな児童と関わる。
- 休み時間と授業を切り替え、もっとメリハリをもつ。
- 授業作りの際、児童の行動を色々と想定したが、ほぼ思い通りにはならなかったので、普段から児童の行動をもっと観察し、かかわる必要が合った。
- 授業後半にも児童が飽きないような工夫をする。

# 2019年度に向けて(小3組)

- 【2019年度の後輩への助言】
- 時間を見て行動する。クラスの目標を把握しておく。(休み時間と授業の)メリハリは大事。
- はじめは児童と仲良くなれるか不安だと思うが、ふじのめの子は話しかけてくれるので気負わなくていい。
- 自分だけでは気づかないことに気づく実習生もいるので、情報を共有したり、話し合う事も重要。

# 2019年度に向けて(小3組)

- 【2019年度の実習に向けて】
- 授業のシチュエーションを事前にシュミレーションしておくべき。緊張はするものだから、色々な場面を想像して対応できるようにする。
- 身構えたり無理にアピールせず、自然体で接することを目標にしたい。
- イレギュラーなことにも対応できるようにする。

# 2019年度に向けて(中1D組)

- 【2019年度の実習生への助言】
- 休み時間にも「外へ行こう！」「体育館へ行こう！」中学校は動いたり、走ったりすることが多かったので、体力をつけること。
- 提出物は早めにやること。グループやクラスで一緒に課題を出すことも多いため、一人だけのペースで取り組まない。

# 2019年度に向けて(中1D組)

- 【3年次の実習に向けて】
- 自分から積極的に動くことを、普段から意識しておきたい。子どもとも自分から関わらないと、関係は結べないから。
- 普段の講義から指導法や実習記録等、基礎的な部分を学んでおくこと。

# 2019年度に向けて(中2D組)

- 【ふじのめ実習に向けて】
- 何事も粘り強く！反応がなくても、次の日には反応してくれることもあるので、最初がダメでも諦めない。それが後に自分の大きな財産となる。
- 周りの人からのアドバイスは次に生かす！言われたことは、メモをして自分の力にしていく。
- レインボーピックの練習では沢山走るなので体力をつけておく。一緒に走ることで仲良くなれる。

# 2019年度に向けて(中2D組)

- 【3年次の実習に向けて改善すること】
- 教材研究を深めていく
- 生徒一人ひとりの実態に合わせて教材を変える事が理想。
- 生徒との距離感に配慮する。
- (友達同士のように)近すぎても、遠すぎてもだめ。生徒と教師という立場を意識する。

# 2019年度に向けて(中3D組)

- 【実習生へのアドバイス】
- 趣味や特技等が多くあると子どもとの会話のきっかけになる。
- 実習中だけでなく見学で訪問する時も含め身だしなみや言葉遣いをしっかりとる。仲良くなっても呼び捨てはダメ。
- レインボーピックの練習で400m、1000m、1500mを走ったりするので、体調管理はしっかり行う。

# 2019年度に向けて(中3D組)

- 【3年次の実習に向けて】
- 実習初日から授業実践まで、観察をしっかりと行う。また一緒に遊ぶ。
- 授業科目が決まったら、その科目についてより深く探求する。
- 指導案の書き方を講義等で学んでおく